

ポルトガードプレクサス工法技術登録

■ 国土交通省 新技術情報提供システム(NETIS)	登録番号：KT-130065-VE
■ NEXCO 新技術新工法	登録番号：SJ0201500005
■ 一般社団法人農業農村整備情報総合センター(NNTD)	登録番号：No.1097
■ 関東農政局土地改良技術事務所新技術新工法	登録番号：No.19
■ 中四国農政局土地改良技術事務所新技術新工法	登録：2014.5.27
■ 東海農政局土地改良技術事務所新技術新工法	登録：2017.10.10

PLEXUS

Technical System

構造物長寿命化・超低汚染

株式会社 セントラルコンクリート

本社 東京都港区北青山2-7-26-805 〒107-0061
TEL.03-5410-2580

千葉支店 千葉県鴨川市金東169-2 〒296-0233
TEL.04-7098-0097

千葉工場 千葉県鴨川市金東419-1 〒296-0233

PORTGUARD PLEXUS

ポルトガード プレクサス
けい酸塩系含浸材

製品概要

- ・製品名 ポルトガードプレクサス
- ・種類 けい酸塩系含浸材
- ・主成分 けい酸ナトリウム+けい酸カリウム・けい酸リチウム
- ・副成分 コロイダルシリカ・シリコネート他

目的

- ・コンクリート構造物の高品質化
- ・コンクリート構造物の表面保護 耐久性の向上 予防保全（劣化因子の侵入抑制 長寿命化）

メカニズム

- ・ポルトガードプレクサスはけい酸塩（けい酸ナトリウム・けい酸カリウム・けい酸リチウム）と副成分を混合した複合型けい酸塩系表面含浸材です。
- ・無機質含浸系でコンクリート基材の微細な空隙に含浸し、基材表層部の組織を改質緻密化します。
- ・ポルトガードプレクサスはコンクリート表層部に浸透して透水抑制層を形成します。
ポルトガードプレクサスは水と塩化物イオンの基材への浸透を抑制して鉄筋への到達を抑制します。
- ・コンクリートの表層部を改質緻密化し老朽化を遅らせます。

効果

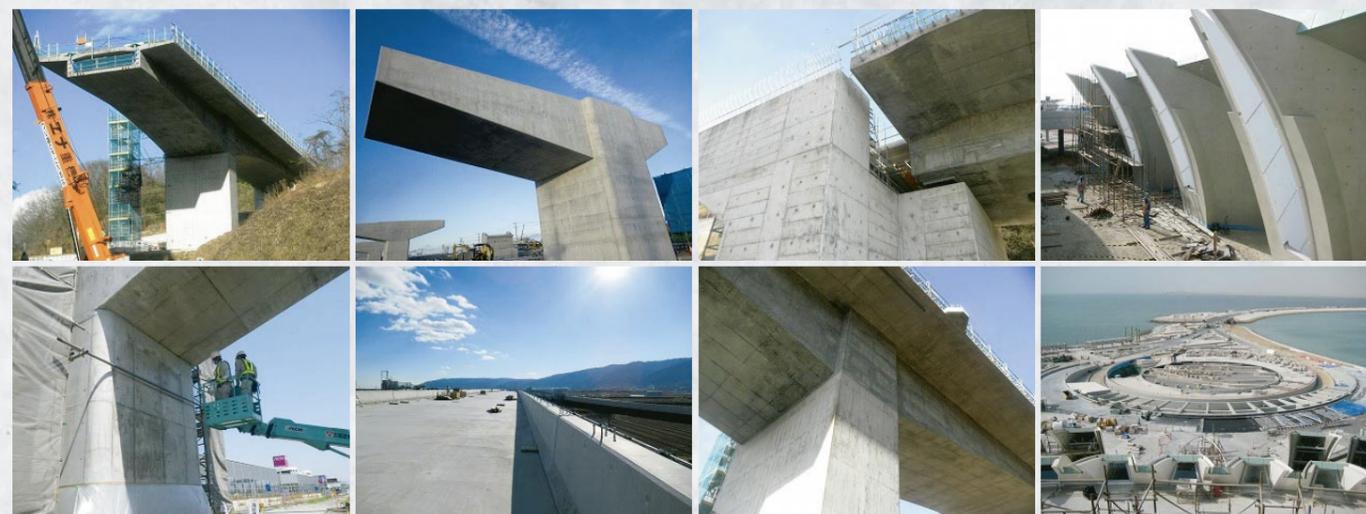
- ・乾燥収縮抑制
- ・中性化抑制
- ・塩害抑制
- ・凍害抑制
- ・疲労 摩耗抑制
- ・鉄筋腐食抑制

特徴

- ・1工程
- ・散水不要
- ・撥水効果により施工範囲の確認



鉄筋コンクリート構造物の耐久性向上と老朽化防止



施工仕様(基本仕様)

	工程	使用材料	標準塗布量 (g/m ²)	塗装方法
1	素地調整	施工面清浄化		
2	塗布	ポルトガードプレクサス	200	刷毛・ローラー・噴霧器
3	養生	施工面が乾燥するまでは雨等に打たれないようにしてください。		



施工上の注意点

- 保護具の着用
 - ・ポルトガードプレクサスは強アルカリ性の含浸材です。取扱いの場合は必ず保護具を着用してください。
 - 飛散の注意
 - ・ポルトガードプレクサスが施工部分外に飛散し、ガラス等に付着すると除去できなくなります。施工中の垂れ、飛散には十分注意してください。
 - 塗布量について
 - ・ポルトガードプレクサスの標準塗布量は200 g/m²と設定しています。
 - ・高強度・超高強度・PCコンクリートなど構造物の種類によっては標準塗布量を含浸できない場合があります。老朽化の進んだコンクリートなどポーラスな表面では標準塗布量より多くの量が必要な場合もあります。塗布量に関しては、コンクリート構造物の表層の状態によって異なりますので、試験塗布をしたうえで塗布量を決定することを奨励します。
 - ・コンクリート表面に含浸材が長く滞在した場合または、コンクリート表面に離型剤等の付着物が残っている場合は反応により表面に白化物を生成することがありますので注意してください。
 - ポルトガードプレクサスには二つのタイプがあります。
 - ・上塗り（塗装等）の施工がある場合は撥水なしを奨励します。
 - ・コンクリート構造物の意匠・用途・仕様により使い分けをお願いします。
- 品質向上のため予告なく製品の性能・仕様を変更することがあります。